

誰もが希望を持てる社会を実現！
安心・安全に働ける環境整備と「底上げ」「底支え」「格差是正」で！

2021春季生活闘争ニュース



2021.3.19 第6号 発行責任者 連合北海道組織労働局

働きの価値に見合った賃上げを！！ —街頭宣伝を実施—

春季生活闘争は3月15日から第一のヤマ場を迎えているが、連合北海道は17日から三日間、札幌市中心部で街頭宣伝を実施し、連合の春闘の取り組みに理解を求めた。

杉山元会長は、「いままさに各組合が決着に向け本格的な交渉を行っている」と報告し、「連合は感染症対策と経済の自律的成長の両立と社会の持続性の実現に向け、賃上げの流れを継続させ、あらゆる格差の是正と底上げ・底支えなどに取り組む中で、総合労働環境改善を図っていく」と述べ、「このことが経済の回復と成長はもとよりすべての働く仲間の働きがいや暮らしの改善につながる」と2021春季生活闘争の重要性について訴えた。

また、山田組織労働局長も、「連合は4%の賃上げを求めている。コロナ禍を隠れ蓑に安易に賃上げをしないことは断じて許されない。経済をまわすにはGDPの6割をしめる個人消費を増やすことが

大事」と訴えると共に、正規雇用労働者と非正規雇用労働者の間の不合理な待遇差の解消を図る「同一労働同一賃金」について「4月1日からすべての事業所に適用される。不合理な格差は是正させなければならない。各職場で確認をお願いしたい」と呼びかけた。

今春闘の集計参加登録組合は3月12日現在、昨年より7組合増の19産別4地協209組合となっている。3月15日から26日の第一先行組合回答ゾーンで8産別2地協29組合、同27日から31日までの第二先行組合回答ゾーンでは8産別61組合、4月中堅・中小回答ゾーンは11産別1地協49組合が回答指定日を配置しており、精力的に交渉を展開している。18日現在で18組合が妥結している。連合北海道は来週23日と25日にも街頭宣伝を実施し、世論喚起を図っていくこととしている。



17日昼、「紀伊國屋書店前」



18日朝、「紀伊國屋書店前」



19日昼、「JR札幌駅前」

【集計参加登録組合交渉日程】

- | | | |
|------------------------|----------|------|
| ◆第一先行組合回答ゾーン／3月15日～26日 | 8産別・2地協 | 29組合 |
| ◆第二先行組合回答ゾーン／3月27日～31日 | 8産別 | 61組合 |
| ◆中堅・中小集中回答ゾーン／4月中 | 11産別・1地協 | 49組合 |